

令和3年度 土木部長の目標宣言

土木部長	部長メッセージ
辻 雅 弘	<p>悲願であった、新東名高速道路「伊勢原大山インターチェンジ」の供用が開始されたことにより、本市の産業や観光などの各分野を筆頭に、地域経済活動の更なる活性化が期待されています。</p> <p>私たちが維持管理する道路施設は、多彩で優れた魅力の向上や地域における賑わいの創出など、重要な社会基盤として、誰もが安全で円滑に移動できる環境を整える必要があることから、引き続き、強靱化をはじめとする災害に強い道づくりや、老朽化対策、歩行者優先対策などを講じながら、都市計画道路の整備を促進するなど、人に優しい、安全で安心な空間整備を進めます。</p>
部等を構成する課等	部等の主な役割
土木総務課 道路整備課	<p>【道路法の規定に基づく道路の適正な管理に関すること】 市道の認定、境界、財産管理、占用工事等の許認可</p> <p>【道路及び橋りょうに関すること】 計画策定、維持管理、整備</p>

部等の取組方針	1	<p>【狭あい道路の整備を推進します】</p> <p>道路環境の改善を図るため、建築行為等における道路後退用地の取得に係る測量、分筆登記費用及び、工作物等の支障物件の撤去費の一部を助成するとともに、後退部分の整備を進めます。</p>
	2	<p>【都市計画道路の整備を推進します】</p> <p>交通の利便性や防災安全性の向上を図るため、都市計画道路 田中笠窪線の整備を進めます。</p>
	3	<p>【安全な歩行空間の整備を推進します】</p> <p>安全で安心な歩行空間の確保を図るため、歩道や歩車共存道路等の整備を進めます。</p>

中期戦略事業プラン(計画期間:令和3年度～令和4年度)「主な事業」の目標値

事業番号	主な事業	事業指標	現状値	令和3年度目標値	令和4年度目標値	所管課
33-101	安全な歩行空間整備事業	歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長	9,279m (令和2年度)	11,320m	12,910m	道路整備課
34-101	都市計画道路田中笠窪線整備事業	事業の進捗率	83.7% (令和2年度)	93.9%	100%	道路整備課
35-101	橋りょう長寿命化対策事業	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数	14橋 (令和2年度)	15橋	17橋	道路整備課